



2024年1月17日  
株式会社アドバンスト・メディア

## 富士通 Japan のヘルスケアソリューションに、「AmiVoice® SDK」が搭載 病院向け音声ソリューション「HOPE LifeMark-Voice」で音声入力を実現 ～モバイル端末からも音声入力可能で、記録品質の向上と業務負荷を軽減し医療 DX を支援～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）の音声認識を中心とした音声関連技術を提供する開発者向けボイスプラットフォーム「AmiVoice Cloud Platform（アミボイス クラウド プラットフォーム）」にて提供している AI 音声認識開発キット「AmiVoice SDK」が、富士通 Japan 株式会社（本社：東京都港区、以下、富士通 Japan）が提供する病院向け音声ソリューション「HOPE LifeMark-Voice（以下、「HOPE LifeMark-Voice」）」に搭載されました。

「AmiVoice SDK」の搭載により、「HOPE LifeMark-Voice」がオプション機能として活用できるようになり、電子カルテなどへの音声入力が可能になりました。



「音声直接入力機能」

「音声メモ入力機能」

2024年4月より、医療機関における働き方の適正化を目的に、労働時間に関する取り決めを中心とした「医師の働き方改革」が開始されます。長時間労働が常態化し、休日の確保が難しい医師が多い中、デジタル技術で医療現場の業務効率化を図る医療 DX の推進が喫緊の課題となっています。

一方で、医師や看護師などの医療スタッフによる電子カルテなどへの入力作業は、全業務の中でも慢性的に業務負荷の高い作業であることが指摘されています。厚生労働科学特別研究事業<sup>※</sup>によると、看護記録業務は、全体業務の13.9%を占めています。記録業務は、日中業務の繁忙さから就業時間外に作成することが多く、残業の要因の一つとされています。

「HOPE LifeMark-Voice」は、富士通 Japan の電子カルテシステムや、モバイル端末からカルテ情報を参照する「HOPE PocketChart」などから、音声入力して記録した情報を患者情報に連携し、テキスト記

録として保存できる音声ソリューションです。音声入力を用いて場所を選ばずリアルタイムに記録できるため、入力時間を短縮。タイムリーな記録の作成によって情報品質を向上させます。残業時間・人件費の削減につながり、医療現場の業務効率化を支援します。

この度、「AmiVoice SDK」の高い認識精度や豊富な導入実績が評価され、富士通 Japan のヘルスケアソリューションに搭載されました。「HOPE LifeMark-Voice」には、医療用語に特化した音声認識エンジンを採用しており、医療用語を高精度に認識することが可能です。また、電子カルテの患者情報と連携しているため、患者選択・メモ・転記を効率的かつ正確に行うことができます。

アドバンスト・メディアは、今後も業務効率化や DX が求められる医療機関に向け、医療従事者の業務負荷軽減に貢献する、AI 音声認識を活用したサービス・ソリューションの開発・提供に努めてまいります。

### ■ 「HOPE LifeMark-Voice」について

「HOPE LifeMark-Voice」は、アドバンスト・メディアが提供する「AmiVoice SDK」を搭載し、オプション機能として電子カルテの音声入力を実現した病院向け音声ソリューションです。

「音声直接入力機能」により、キーボード入力可能なエリアにカーソルを合わせて発話することで、電子カルテ画面に直接、音声入力することが可能です。

「音声メモ入力機能」では、患者情報に連携したメモを音声入力で作成します。メモをとりたい患者の氏名を読み上げると、該当患者の音声メモ入力画面が立ち上がり、音声入力で作成したメモは、電子カルテに転記が簡単におこなえます。さらに「音声メモ入力機能」では、「HOPE PocketChart」を活用することでモバイル端末からも、患者情報に連携したメモで音声入力することができます。

また、単語登録機能を活用することで、医療用語を、高精度に認識することが可能です。さらに、音声コマンドにより、患者選択や、音声中断・再開、カーソル移動を音声で操作ができ、キーボードやマウスの必要なく、移動中や診察中など手が離せないシーンでもご利用いただくことができます。

#### 「HOPE LifeMark-Voice」詳細について

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/products/lifemarkvoice/>

#### 「HOPE LifeMark-HX」詳細について

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/products/lifemarkhx/>

#### 「HOPE PocketChart」詳細について

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/products/pocketchart/>

### ■ 「AmiVoice SDK」の特長

「AmiVoice SDK」は、認識精度の高さからさまざまな利用シーンの音声入力・音声テキスト化に使われています。録音機能なども合わせてライブラリで提供するため、さまざまな OS のネイティブアプリの開発が容易に行えます。音声認識サーバーとの連携「AmiVoice API Private」でデバイススペックに左右されない運用も可能です。

詳細については、下記 Web サイトをご確認ください。

[https://acp.amivoice.com/amivoice\\_sdk/](https://acp.amivoice.com/amivoice_sdk/)

#### 「AmiVoice API Private」の詳細について

[https://acp.amivoice.com/amivoice\\_api\\_private/](https://acp.amivoice.com/amivoice_api_private/)

#### 「AmiVoice Cloud Platform」の詳細について

<https://acp.amivoice.com/>

**【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>**

- 代 表 者** : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
- 本 社** : 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F
- U R L** : <https://www.advanced-media.co.jp/>
- 設 立** : 1997 年 12 月
- 資 本 金** : 69 億 3,031 万円 (18,392,724 株) (2023 年 9 月末現在)
- 事 業 内 容** :  
◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」  
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」  
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国) と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場 (現: グロース市場) に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1 (出典: ecarlate 「音声認識市場動向 2023」) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

**【本件のお問い合わせ】**

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail : <a href="mailto:press@advanced-media.co.jp">press@advanced-media.co.jp</a> ・ TEL : 03-5958-1307	医療事業部 ・ E-mail : <a href="mailto:medical@advanced-media.co.jp">medical@advanced-media.co.jp</a>